

平成31年度  
事業計画書



公益財団法人

大泉町スポーツ文化振興事業団

## 平成31年度 公益財団法人大泉町スポーツ文化振興事業団 事業計画

### ● 経営方針

#### 1. 状 況

平成31年度は、新天皇が即位され元号が変わる大きな節目の年となります。当事業団は、大泉町の未来像である「活力あり、やすらぎのある住みたい町」づくりを図るため設立され、35年の年月が経ち、文化むらは30周年を迎えることとなりました。スポーツと芸術文化事業を振興することにより、心身ともに豊かで潤いと活気に満ちたまちづくりを進め「昭和」、「平成」の時代を通し活動を続けております。

この間、国内外は大きく変貌いたしました。国外では米国や欧州で分断社会が進行し、内戦が多発し難民問題などさまざまな形で情勢は変化いたしました。一方、国内に目を転じると多くの自然災害が人々を苦しめ、少子高齢化は一段と深刻化し、バブル崩壊による経済の衰退などさまざまな課題が山積しております。そのような状況下において、非営利組織である公益法人の果たすべき役割はますます重要なものになっています。平成23年3月の東日本大震災直後の混乱期においても、被災者を励まし、揺らいでいる日本国を何とか立て直そうとする動きは、スポーツ界や芸術文化界が大きな力となったことは、記憶に残っています。そうした人々が苦しい時、心の糧や明日への活力になることは、スポーツであり芸術文化であります。平成31年度は改めて、私たちの原点に立ち返り「あるべき姿」を見つめ直し、与えられたミッションを果たしてまいります。

#### 2. 課 題

第4期指定管理期間は、指定管理者制度の根幹である、「民間的経営手法の実践」、「町民サービスの向上」、「経費の節減を図る」ことが求められてきました。これらをふまえ平成29年度からの3年間で、当事業団は、「人材育成」、「環境整備」、「振興事業の見直し」、「お客様第一主義の徹底」、「事業運営の効率化」、などを行っているところであります。

現在の具体的な課題は、入場料収入などの自己収入割合の向上があげられ、職員一人ひとりが「プロフィット」に着目し、経営に関する意識改革を行い、組織全体でマネジメント力を強化する必要があります。また、その他のことについても道半ばであり、今後も継続的に取り組む必要があります。

#### 3. 31年度方針

上記2の課題をふまえつつ、人材育成・振興事業・施設運営の3点にポイントを置き、尽力してまいります。平成31年度は平成29年度からの指定管理期間の最終年度であり、その意義を示すために具体的に下記の取り組みをしてまいります。

##### (1) 人材育成

喫緊の課題であり、ベテラン職員の高齢化、若年層との2極化、プロフィットの習得、多様な働き方への対応、管理職のマネジメント能力の向上、若手職員の早期育成などが求められる中、年間研修カレンダーの作成、階層別、担当業務別にプログラムをして、人材像をより明確にOFF-JTを中心に進めてまいります。特に危機管理の重要性はますます高まっていますので、「防災士資格取得」、「リスクマネジメントの強化」などの取り組みを行ってまいります。

## (2) 振興事業

### 【スポーツ振興】

健康志向ブームにのせた新規事業として「ピラティス教室」、「選べるヨガ教室」、「トレーニング教室」など利用率促進も図れる形でピックアップいたしました。また、継続事業には群馬銀行グリーンウイングスにご協力いただきアウトリーチ事業“キッズ夢プロジェクト”、さらに“ニュースポーツ普及プロジェクト”として「アジャタ教室」及び「アジャタ大会」を実施します。そして、いよいよ2019年はラグビーワールドカップが開催されます、本町の「パナソニックワイルドナイツ」の選手も日本代表に選出されておりますので、選手の応援や大会の盛り上げに尽力してまいります。また、2020年東京オリンピック・パラリンピックもすぐそこまで迫ってまいりましたので、ぜひ、本町の在住・出身選手を輩出いたしたく「トップアスリート支援指定事業」は今年度も引き続き実施してまいります。

健やかなからだと、明るく豊かで活力に満ちたまち「町民皆スポーツ」の実現に向け、健康づくり・コミュニティづくりの機会の提供を重点テーマに、今年度もさまざまな事業を展開してまいります。

### 【文化振興】

大泉町文化むらは、5月に開館から30周年を迎えます。これを事業団PRにおける絶好の機会と捉え、文化むらに関わりの深いヴァイオリニスト古澤巖氏及び群馬交響楽団のコラボレーション企画という、まさに事業団の面目躍如たる大規模な記念事業を計画し、事業団が30年の間に培ったオリジナリティ溢れる振興活動の潮流を広く内外にアピールします。ただし、昨今の経済状況から、経費の縮減が求められている現状を鑑み、群馬県・県教育文化事業団との共催による県費の導入を行うべく、現在申請を行っております。また、宝くじの社会貢献広報事業による助成事業「宝くじ文化公演」を開催する等、外資の導入による経費の縮減を目指しながら、収益性が芳しくない事業の見直しを進める等、採算性の向上を目指します。加えて「参加型事業」にて、新規事業の「うたごえ出前コンサート」を開催し、流行歌を軸にしたシニア世代の交流の場の創出にも努めます。

豊かな創造性をはぐくみ、感動や生きる喜び、伝統文化やふれあいを大切にする「文化の香り高いまち」づくりのため、今年度も老若男女の多くの方々が、さまざまなジャンルの文化芸術に触れることができる事業を展開してまいります。

## (3) 施設運営

日々めまぐるしく、多様化する現代社会を生き抜くために、町民がさまざまなことにチャレンジしていくための「夢」や「意欲」をもって「生き生きと学ぶ」ことのできる空間づくりに尽力してまいり所存です。まずは、公共施設の使命である利用者サービスの向上に努めてまいります。「おもてなしの心」や「おもいやり」をもって温もりの感じられる接客を念頭に、今年度も「すべては町民のため」をスローガンに、また、経営理念の一項目に「お客様第一主義」を掲げ、心あらたに職員一丸となって取組んでまいります。

また、昨年度は台風、豪雨などの災害が多く当事業団が管理する施設においても被害がもたらされました。平成の時代を象徴するかのよう、日本中さまざまな場所で災害が起き、いつ本町でどんな災害が発生してもおかしくありません。今後も日頃からの防災対策を怠ることなく、より一層尽力してまいりたいと存じます。そして、経費の縮減に努めながらも、町民の皆さまやお客様のニーズを大切にして、大泉町の将来都市像である「ずっと住みたい私のまち おおいずみ」実現に貢献してまいります。

## 1. 共 通

- 今年度の具体的な（新たな）取り組み

### 利用者サービス向上

区分	取 組 み 内 容
共通	あらゆる差別の撤廃をめざす人権擁護条例の理念の推進
	防災士資格取得（昨年2名、今年2名予定）
	ミッション経営の強化（経営理念を毎朝、朝礼で読み上げる等）
	CSR推進活動の拡充 （ボランティア活動・チャリティ活動の実施、環境問題への配慮）
町民体育館	サービスマニュアルの改良
	利用者への声かけ実施
文化むら	ホスピタリティあふれる接客・ユニバーサルサービスなどの実施

### 施設管理運営

区分	取 組 み 内 容
共通	広報誌「フレッシュおおいずみ」を隔月発行に変更（奇数月に発行） ※ 町広報の配布方法の変更、紙面掲載方法の見直し、経費縮減により
	清掃の強化（快適環境提供のため、施設を清潔に保つ）
	危機管理体制の強化

## 2. スポーツ

- スポーツ関係の特記事項

取 組 み 内 容
多くのニーズに対応するため、時間帯や多言語に対応した事業を実施します
「より安全・より快適なスポーツ環境作り」を目標に施設整備を行い、利用者数増を目指します

- 事業概要

### (1)スポーツの普及及び推進【公益目的事業】

#### ア 健康増進支援事業

気軽に楽しめるスポーツを通じ、健康なからだと豊かな心を育む機会を提供する事業。具体的には、幼児期からの体力向上、高齢者の健康寿命延伸支援、普段スポーツ施設に出向けない方を対象に福祉施設や保育園・幼稚園に指導者を派遣するアウトリーチ事業など、子供から高齢者まで幅広い方々のための、スポーツを通じた健康づくり・コミュニティづくりの機会の確保に努めます。

【自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	①4月～ ②7月～ ③9月～ ④12月～	骨盤リンパストレッチ教室①～④ (各10回シリーズ)	50名～ 60名	ストレッチ体操により身体の柔軟性を向上させながら、骨盤と肩甲骨周りを中心に、わき下や足の付け根のリンパの流れを改善し身体を「スッキリ」させる。「疲れやすい、脚がだるい、むくみやすい」などの解消法として女性を中心に人気の教室。
2	5月	(新) 選べるヨガ教室	35名	ヨガのストレッチや呼吸で、ストレスや疲れを改善し、心身の相互作用による健康増進を目的とする。
3	6月	(新) ピラティス教室	20名	仕事をしている方も対象に、身体の筋力を回復させるのに効果的なピラティスを取り入れた教室。3カ国語を用いて行い、外国の方の参加も目指す。
4	7月	(新) トレーニング教室	30名	ジム利用率の増加に伴い、健康維持を目的としたトレーニング希望の方を募り、教室終了後も継続的な施設利用を目指す。
5	9月	もっと速く走れる！走り方教室 —持久走大会に向けて— 協力：SUBARU 陸上競技部	40名	SUBARU 陸上競技部の指導のもと、小学生を対象に運動会や持久走大会などを目指して、走り方を学ぶ。

【振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
6	9月	楽しく！チアリーディング体験！	30名	子供達がチアダンスの楽しさに触れながら、運動能力向上を目的とした事業。
7	11月	(新) ウォーク大会	なし	健康増進を目的に、大泉町の緑道を中心とした町内のコースを歩く。

イ スポーツ普及事業

軽スポーツを中心とした新しいスポーツを、幅広い層に紹介し、スポーツの普及に務める事業。具体的には、ジュニア世代に向けた競技スポーツの普及及び育成、幅広い世代のスポーツ大会参加の促進、スポーツに親しむ機会の確保、生涯スポーツの推進に努めています。

【自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	9月	《キッズ夢プロジェクト》 大泉町バレーボール教室 協力：群馬銀行グリーンウイングス	10チーム (100名)	群馬銀行バレー部指導による、子供又はミセスを対象にしたバレーボール教室。子供を対象とした教室の場合は《キッズ夢プロジェクト》としての開催。
2	3月	《キッズ夢プロジェクト》 パナソニックワイルドナイツ スポーツ教室 協力：パナソニックワイルドナイツ	40名	パナソニックワイルドナイツ指導による教室。ラグビーのルールを基本としたタグラグビーの実施や、ラグビーに触れる体験をしてもらう事を目的とする。

【 振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
3	4月	(新) 大泉町少年野球大会	未定	技術・体力の向上並びにスポーツに対する理解を深め、あわせて健全な青少年の育成を図ることを目的とする。
4	9月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 第23回大泉町民スポーツ・レクリエーション祭 共催：大泉町教育委員会・大泉町体育協会	なし	第9回全国スポーツ・レクリエーション祭ソフトバレー大会を記念とした軽スポーツ大会。町民の交流を図るとともに、生涯スポーツの定着を目的とする。
5	9月～ 10月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 アジャタ（スポーツ玉入れ）教室（4回）	30名	「アジャタ」…全国玉入れ協会が制定したルールのもと行う、スポーツ玉入れ。幅広い年齢層の方が参加でき、参加者同士が交流を深めながら運動する。
6	11月	《ニュースポーツ普及プロジェクト》 アジャタ（スポーツ玉入れ）大会	20組 (120名)	町内アジャタ経験者と、教室参加者を対象とした大会。
7	12月	第43回大泉町マラソン大会 共催：大泉町・大泉町体育協会	なし	町体育協会との共催。1.5km/3km/5kmの各コースを年齢・性別を分けて実施。
8	1月	《キッズ夢プロジェクト》 第18回大泉町少年野球教室 協力：(株)SUBARU硬式野球部	6チーム	SUBARU 硬式野球部の指導による、町内少年野球チームを対象とした野球クリニック。

ウ スポーツ観戦事業

文部科学省がスポーツ政策の基本的方向性を示す「スポーツ立国戦略」では、日常的にスポーツに親しみ、スポーツを楽しむ一環として「するスポーツ」だけでなく「観るスポーツ」も同時に推進したいとしています。トップレベルの競技大会やプロスポーツの観戦など、生の迫力を感じていただくために競技が行われている会場に出向き観戦をし、また町内の運動施設を活かし、観るスポーツの提供に努めています。

【 自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	11月	スポーツ観戦事業	未定	町内施設を利用したプロスポーツ観戦を通じ、感動の場を提供。

【 振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
2	未定	観るスポーツ！観戦ツアー	40名	町内では観る機会が無いプロスポーツ等をツアーとして提供。

エ. その他事業

【 自主事業（指定管理事業）】

No	期 日	事 業 名	定 員	内 容
1	未定	救急救命講習会	20名	自動体外式除細動器（AED）を使用した救命処置の講習。

【 振興事業（補助金事業）】

No	期 日	事 業 名		
2	7月	第31回群馬県市町村対抗ゴルフ選手権 大泉町予選会	なし	予選会で3位以内の方を県市町村対抗ゴルフ選手権大会の大泉代表選手候補として推薦する。
3	10月	《キッズ夢プロジェクト》 群銀バレーアウトリーチ事業 協力：群馬銀行グリーンウイングス	なし	地元銀行バレーボールチームの協力のもと、町内施設に出向き、スポーツを楽しむ事を学び体験する機会の提供と、世代間交流を目的とする。

(2) スポーツの情報等の収集及び提供【公益目的事業】

ア 月刊広報誌「フレッシュおおいずみ」の発行

【 振興事業（補助金事業）】

地域スポーツの活性化を目的とし、地域スポーツ大会の結果の掲載や大会の告知等を行う広報紙「フレッシュおおいずみ(町内全世帯及び関係機関、団体に配布)」を月刊にて発行してきましたが、31年度からは隔月刊（奇数月発行）とし、経費の縮減を図ります。これによる影響を最小限に抑えるべく、計画的な情報掲載に努め、ホームページやSNSとの連携強化により、現代の情報環境に適した情報発信システムの確立に努めます。また、ラグビーワールドカップ・東京オリンピックに向けた特集記事を掲載し、スポーツ機運の高まりと大会の盛り上がり及び町の賑わいの創出を図ります。

●発行部数：町内全世帯及び関係機関、団体に配布＝16,500部／月



イ ホームページの運営

【 指定管理事業 】

●事業団ホームページURL = <https://www.bunkamura.or.jp/>

各種スポーツ教室やイベント案内、施設利用案内、Twitterでの情報発信など、利用促進に努める。「ラグビー2019ワールドカップ特集」、2020年東京オリンピック・パリオリンピック特集として「大泉町から世界を目指すアスリートたち」を開設しスポーツ気運を高めます。

31年度は情報誌「フレッシュおおいずみ」の隔月刊化を予定している為、事業団にとってホームページ、SNSなどの重要性は一層大きなものとなります。このため、今後は有用性のPRを強化し、フォロワーや購読者の増加を図ります。



(3) スポーツ活動の支援【公益目的事業】

ア 振興発展のための後援事業

【 振興事業（補助金事業）】

地域のスポーツ大会や教室の後援を行い、優勝メダルの提供や大会等の受付業務の代行、告知などを行います。

## イ 大泉町・地域スポーツ大会等協力

地域スポーツ大会等の開催準備、実施協力を行います。

NO	期 日	内 容
1	5月	東毛地区中学校競技大会
2	6月	高齢者・身障者スポーツ大会
3	6月	地域公民館サッカー・ソフトバレー大会
4	7月	河川清掃
5	7月	勤労者野球大会
6	10月	町民体育祭
7	12月	スポーツ少年団交流大会
その他		秋季検閲、ポンプ操法、総合防災訓練、 体育協会主催事業など

### (4) スポーツ団体の助成及び育成【公益目的事業】

#### ア トップアスリート支援指定

##### 【振興事業（補助金事業）】

- ・大泉町トップアスリート支援指定基準により助成金を支出し、大泉町出身の選手の輩出及び、町を挙げての支援による 2020 年東京オリンピック大会の盛り上げと町の賑わいの創出を図ります。

#### イ スポーツ団体育成・強化指定

##### 【振興事業（補助金事業）】

- ・スポーツ団体育成指定基準により助成金を支出し、スポーツの振興、選手の育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成します。
- ・スポーツ団体指定基準により助成金を支出し、スポーツの向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図ります。

#### ウ 大会等出場援助

##### 【振興事業（補助金事業）】

- ・大会等出場援助基準により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図ります。



## (5) スポーツ活動拠点の運営【公益目的事業】

### 【指定管理事業】

#### ① 概要及び具体的な取組み等

町有スポーツ施設指定管理等事業として、大泉町有料公園施設（運動施設）の管理業務（町民体育館、町民野球場、いずみサッカー場、ゲートボール場、南公園、御正作公園、スバル運動公園）と大泉町社会体育施設の管理業務（西体育館、とね運動場）を行い、また学校体育施設及び大泉町地域交流センターの一般開放に関する施設の貸出し及び照明使用料の収納事務を行います。

「より安全・より快適なスポーツ環境作り」のための具体的施策

#### ・いつでも快適に、スポーツのしやすい環境作り

高温時の休憩場所としてエアコンがある部屋の開放を行い、熱中症対策として窓口にて塩分チャージタブレットを配布します。

#### ・いざ、という時の備え、安心して利用していただく施設環境作り

AED が設置されていないスバル運動公園等の施設に AED を新設します。

#### ・毎日気軽に来られるトレーニング室を目指す

近年の利用者数増加に伴う混雑解消のため、器具の配置転換や町民体育館空き部屋の利用を行います。また、増えたニーズに合わせて器具の更新・増設を行います。

#### ② 利用者数及び使用料収入目標

施設名	年度	目標人数(人)		使用料目標額(円)
		★:目標達成		※29年度は実績額、30年度は予想額
有料公園施設(運動公園)	31	214,270		8,500,000
	30	212,146		8,400,000
	29	210,043	★	8,307,990
社会体育施設	31	16,279		127,000
	30	16,118		63,000
	29	15,958	★	80,000

## 3. 文 化

### ● 文化関係の特記事項

取 組 み 内 容
平成 31 年 5 月に文化むらが 30 周年を迎える事に伴い、文化むらのこれまでの取組みを象徴する規模の大きい記念事業を企画・開催します。また、共催事業等に積極的に取り組み、外資の導入による経費の縮減に取り組みます。
事故防止力の向上を図るなど「利用者の安全確保が何事にも優先する」「安全・安心を最優先」にした運営を行う。また、ヒヤリハット事例の共有とデータベース化は引き続き行う。

● 事業概要

(6) 文化の創造及び推進・(7)文化活動の協働及び創造性を育む機会の提供【公益目的事業】

ア 鑑賞事業

本物の芸術文化に触れる「感動」の場として、個性的で質の高い事業の提供を目指し取り組んでいます。大ホールにて開催する「古澤巖ヴァイオリンの夜」や小ホールにて開催する「ロマンティック・ジャズ」、また、「ファミリーコンサート」、「大衆演劇」等、施設の特徴を活かしつつ、各世代に向けた、大泉ならではのプログラムを企画しています。

特に31年度は、開館30周年記念事業として、文化むらに関わりの深いヴァイオリニスト古澤巖氏と群馬交響楽団の共演により、町発足40周年記念の際に古澤氏にて作曲された大泉町の曲「町の思い出」「旅立ち」の2曲の演奏会という、他のどの自治体も取り組む事が不可能な記念事業を計画し、オリジナリティ溢れる鑑賞の場を提供いたします。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	8月	(新) 宝くじ文化公演／群馬交響楽団コンサート 共催：大泉町教育委員会・(一財)自治総合センター	宝くじの社会貢献広報事業として(一財)自治総合センターが市町村等との共催にて開催。外資の導入により規模の大きい事業が僅かな地元負担で開催することができる。
2	2月	(新) 文化むら開館30周年記念事業 県民音楽のひろば 古澤巖ヴァイオリンの夜 群馬交響楽団コンサート(仮称) 共催：群馬県・(公財)群馬県教育文化事業団(予定)	例年開催している「古澤巖ヴァイオリンの夜 in 文化むら」を開館30周年記念事業として、同じく文化むらと関わりの深い群馬交響楽団を招き大規模な記念事業として実施する。経費が膨らむ部分を「県民音楽のひろば」の冠を付け開催することで出演経費の40%程度を県費による負担とできる為、現在申請中。
3	未定	文化むらファミリー・コンサート 共催：大泉地域活動連絡協議会	町立各児童館の保護者組織である“母親クラブ”を母体とする“地域活動連絡協議会”との共催にて実施する、ファミリー向け事業。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
4	5月 7月 10月 1月	文化むらジャズコンサートシリーズ 第10集 ロマンティック・ジャズ～ プレミアム・ナイツ2019 シーズン1「春」 シーズン2「夏」 シーズン3「秋」 シーズン4「冬」	大泉町在住のベーシスト・川島潤一氏のナビゲートで、小ホールを会場に開催する年4回の人気ジャズ・コンサートシリーズ。 多くのファンに支えられロングランの継続となっているが、10年目となる今期にて幕引きとし、32年度以降のジャズ公演については新しいアプローチを検討したい。 ファイナルに相応しい豪華ゲスト陣を予定。
5	6月	文化むら大衆演劇	観光地などではお馴染みの大衆演劇を、文化むらにて堪能してもらう企画。平日昼間の公演で、主に高齢者をターゲットとして開催する。

## イ 参加事業

利用者も含めた多くの町民が参加できる「ふれあい」の場として企画し、同時に交流を深め、相互の文化活動が励起し合うような相乗効果の活性化を図っています。地域住民が計画的に参加できるよう、継続的に取り組む事業が中心となりますが、31年度は新たに「うたごえ出前コンサート」を企画・実施します。今後、増加が見込まれるシニア層を対象に、かつての流行歌を通し気軽に参加できるコミュニティーの創出、高齢者の社会参加促進に繋がる事業を計画し、社会福祉にも貢献できる事業展開を目指します。

### 【 自主事業 (指定管理事業) 】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	5月	第12回文化むらピアノマラソン	文化むらが備える「スタインウェイ」「ベーゼンドルファー」「チェンバロ」を大ホールステージで演奏する機会を提供し、楽器と施設により一層親しんでもらう事を目的に開催する。
2	11月	第25回大泉町合唱祭	町内を拠点に活動する合唱サークル、高校・専修学校の学生、町内中学校の校内合唱コンクール最優秀クラス、小学生のグループなど幅広い年齢層による演奏会。

### 【 振興事業 (補助金事業) 】

NO	期 日	事 業 名	内 容
3	6月	(新) うたごえ出前コンサート	かつての“うたごえ喫茶”の中心的存在であった「喫茶ともしび」のスタッフが、専用の「歌集」を携えて全国にうたごえコンサートを出前する企画。シニア世代に流行したヒット曲を中心に、気軽に参加して思いっきり歌える場を提供する。
4	9月	文化むらダンス・フェスタ2019	従来別々に開催していた「大人向け」と「キッズ」のダンスフェスタを、昨年度から統合し「文化むらダンスフェスタ」として1日で開催する形にした。地域で活動するダンスチームの発表と交流を目的として開催。活動の活性化を目指す。
5	未 定	アマチュアバンドLIVE in 文化むら	町内及び近郊にて活動中のアマチュア演奏家を募集し、合同の演奏会を行う。アマチュア音楽活動の活性化を目指す。
6	未 定	第10回 文化むらカラオケ選手権大会	一流の審査員を迎えながら、地域のカラオケ愛好家がグランプリの栄冠を目指し、文化むらの大ホールで自慢ののどを競う企画

## ウ 創造育成事業

教室事業や「独創性の高いオリジナル事業」の制作に、文化団体や演奏家、利用団体などと協働で取り組む「創造」の場を提供することにより、地域文化の発展と文化振興を担う人材の育成に取り組んでいます。特に31年度は、昨年ミーティングポイント「ドゥ・プラス」との共催事業「きらめくオペラ」の中で試験的に取り組んだ「一流ソリスト達による声楽クリニック」をより充実させ、西邑楽高校の音楽コースの生徒をはじめとして、地域で声楽の勉強に取り組む学生らに質の高い学習の場を提供できるよう計画的に取り組めます。また、昨年度初めて開催した町内3中学校の吹奏楽部によるクリスマスコンサートも、生徒や学校側からたいへん好評を頂くことができました。今後は初回の様々な反省を踏まえ、より充実した公演に繋げ、集客の増加を目指すなど、吹奏楽に取り組む生徒達の大きな励みとなるような事業に育てて行きたいと考えています。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	内 容
1	4月～3月	大人のための初心者ヴァイオリン合奏教室（全44回）	高校生～一般成人を対象とした初心者向けの教室。個人ではなくグループでのレッスン形式とし、希望者には期間中楽器を無償貸与する等、とかく敷居が高いイメージのヴァイオリンを多くの地域住民に体験してもらえる機会を提供する。
2	5月	第11回群馬県東部地区吹奏楽連盟 ソロコンテスト 共催：群馬県東部地区吹奏楽連盟	県東部地区の学生や一般を対象に、ソロ演奏の技術を競いながら相互交流と吹奏楽の普及振興を図る。上位入賞者は県吹奏楽連盟主催の県大会に推薦される。
3	9月	谷口睦美プロデュース ～きらめくオペラ (共催：Meeting Point Doux+)	日本を代表するソプラノ歌手・谷口睦美が一流歌手の仲間たちと共に、地元合唱団と共演しながら、美しいオペラアリアの数々を紹介するオリジナル企画。
4	12月	クリスマス・ウインド・フェスティバル2019	町内3中学校の吹奏楽部による合同のクリスマスコンサートを開催し、学校間の交流を活性化し演奏技術の向上を目指す。また、保護者・地域住民に向けての発表の場を設ける事により、中学校に於ける文化系部活動の根幹とも言える吹奏楽の活動に対する理解を深めてもらう機会を提供する。
5	1月～2月	群響楽器セミナー 共催：(公財)群馬交響楽団	町内3中学校の吹奏楽部員を対象に、群馬交響楽団員が直接楽器演奏の指導を行うセミナー。プロの指導により演奏技術の向上を図る。講師派遣に係る経費については群響側の負担で開催できる。
6	3月	邑楽館林吹奏楽連盟 第32回新人演奏会 共催：邑楽館林吹奏楽連盟	邑楽館林地区の中学・高校の吹奏楽部員1～2年生による合同の演奏会。相互の演奏に触れることにより、活動の一層の活性化を目指す。一般の吹奏楽団も参加して開催される。

エ アウトリーチ・その他事業

施設内の活動にとどまらず、文化むら等の施設に足を運ぶことが困難な方々や機会がなかなか持てない方々のところへ出向き、質の高い芸術文化鑑賞の機会の提供に取り組んでいます。また、県内施設に於いても「避難訓練コンサート」への取り組みをいち早く開始し、数百人単位の対象者を効率的に避難させるノウハウの構築に取り組んでいます。

【自主事業（指定管理事業）】

NO	期 日	事 業 名	入 場 料 等
1	9月	第6回文化むら避難訓練コンサート 協力：西邑楽高等学校	職員のみで行っている法定の消火・避難誘導訓練に対し、実際の公演において、多くの観客を安全に誘導する為のスキルを定着させる事を目的に、本番のコンサートに会場した一般客に協力を求めながら実施する訓練。

【振興事業（補助金事業）】

NO	期 日	事 業 名	入 場 料 等
2	未 定	訪問コンサート	文化むら以外の場所にアーティストを派遣し、広く地域住民に芸術活動を体験してもらう機会を提供する出張・訪問型事業。

## (8) 文化の情報等の収集及び提供 【公益目的事業】

### ア 月刊広報誌「フレッシュおおいずみ」の発行

#### 【振興事業（補助金事業）】

地域文化活動の活性化を目的とし、地域に於ける各種文化活動に関する情報の告知等を行う広報紙「フレッシュおおいずみ（町内全世帯及び関係機関、団体に配布）」を月刊にて発行してきましたが、31年度からは隔月刊（奇数月発行）とし、経費の縮減を図ります。これによる影響を最小限に抑えるべく、計画的な情報掲載に努め、ホームページやSNSとの連携強化により、現代の情報環境に適した情報発信システムの確立に努めます。

●発行部数：町内全世帯及び関係機関、団体に配布＝16,500部／月



### イ ホームページの運営

#### 【指定管理事業】

●事業団ホームページURL =<https://www.bunkamura.or.jp/>  
情報の発信のみならず、各種講座やプレゼント企画の応募等も、スマートフォン等の情報ツールからの応募に対応できるよう、内容の充実に努めてきました。31年度は情報誌「フレッシュおおいずみ」の隔月刊化を予定している為、事業団にとってホームページ、SNS、メールマガジンといった電子ツールの重要性は一層大きなものとなります。このため、今後はQRコード等を活用した印刷媒体との連携を一層強化していくとともに、SNSやメールマガジンの有用性のPRを強化し、フォロワーや購読者の増加を図ります。



## (9) 文化活動の支援 【公益目的事業】

### ア 振興発展のための後援事業

#### 【振興事業（補助金事業）】

・地域の文化事業の後援を行い、優勝メダルの提供や事業の告知などを行う。

### イ 大泉町・地域文化事業等の協力

- ・地域の文化事業（文化協会主催事業・地域公民館連絡協議会主催事業・公民館利用サークル連絡協議会主催事業等）の開催協力（舞台照明・音響の制作やオペレート等）を行う。
- ・地域の文化活動に必要な各種物品（ポータブルアンプ、無線機 等）の貸出を行う。

## (10) 文化団体の助成及び育成 【公益目的事業】

### ア コンクール等参加に対する助成

#### 【振興事業（補助金事業）】

- ・大会等出場援助要綱により、大会に出場する個人・団体に助成金を支出し、経費負担の軽減を図る

### イ 文化団体育成・強化指定

#### 【振興事業（補助金事業）】

- ・文化団体育成指定要綱により助成金を支出し、文化の振興、育成に積極的に取り組み、向上・発展に貢献できる団体を育成する。
- ・文化団体強化指定要綱により助成金を支出し、文化の向上・発展に貢献したと認められる団体の更なる強化を図る。

### ウ 文化事業支援

#### 【振興事業（補助金事業）】

文化事業支援要綱により助成金を支出し、文化事業を町民を対象に実施する団体を支援する。

## (11) 文化活動拠点の運営 【公益目的事業／収益事業】

### 【指定管理事業】

#### ① 概要及び具体的な取組み等

町有文化施設指定管理等事業として、大泉町文化むらの管理業務を行う。

##### ・団体との連携や利用者サービスについて

文化協会をはじめとする多くの各種団体と緊密な連携体制の構築を図る。また、施設をより多くの方々に利用していただくため、利用者サービスの向上に努め、また大泉町パートナーシップの運用開始に伴い、性的マイノリティの方々への配慮にも努める。

##### ・施設管理運営について

利用者が快適にかつ安全、安心して利用できるように「人にやさしい施設」を提供します。今年度の具体的な取組みとして、和式トイレの洋式（温水シャワー付）トイレ化の実施、お客様を不快にさせない範囲での光熱費の削減に努める。

##### ・安全対策について

施設を安心安全に利用していただくため、一日に複数回の巡回を実施するなど防犯・防災・事故等の未然防止をはじめとし、危険箇所や修繕箇所の早期発見を行い安全管理体制を確立すると共に安全管理マニュアルも策定する。災害時の対応として、まず利用者の安全確保に迅速かつ的確に行動し、またマニュアルに基づき、町防災計画への積極的な協力や正確で迅速な情報収集の提供を図るなど被害が最小限になるよう努める。

## ② 利用者数及び使用料収入目標

施設名	年度	目標人数(人) ★:目標達成	使用料目標額(円) ※29年度は実績額、30年度は予想額
文化むら	31	217,379	9,685,000
	30	215,227	9,600,000
	29	213,097 ★	9,682,890

## 4. 法人運営

### ● 法人運営

#### 【補助金事業】

#### ア 人材育成

職員の新陳代謝が進む中、経営基盤づくりの上で人材育成は最も大切な要素だと考えます。大泉町のスポーツ、芸術・文化振興を担う専門組織として、また、指定管理者として町民の皆さまにご満足して頂き、安心してご利用頂くために職員一人ひとりが責任を持って業務に携えるよう、今年度も引き続き「人づくり」に取り組んでまいります。

NO	研修名	予定月	内容など
1	接客研修	8月/2月	ビジネスマナー、クレーム対応など
2	軽スポーツ講習会	4月	新たな軽スポーツを体験し、今後の振興事業に活かす
3	人権研修	10月	町ぐるみ人権教育推進大会
4	ユニバーサルサービス研修	3月	意識と知識を養い業務運営に生かす
5	PDCA 研修	3月	業務運営の中核となるPDCAサイクルを学ぶ
6	CSR 教育研修	10月/2月	コンプライアンスと環境啓発を学ぶ
7	自主事業研修 プログラム研修	年1回 時期未定	事業担当者育成の専門セミナー
8	舞台技術/ 貸館業務研修	年1回 時期未定	舞台、管理担当者の専門セミナー
9	協働のまちづくり 関係研修	年1回 時期未定	大泉町主催の協働まちづくりセミナー
10	責任者研修 マネジメント研修	毎月	責任者としての資質向上、組織・戦略・財務管理などのマネジメントを学ぶ

## イ 環境整備

少子高齢化や社会構造の転換によるストレス社会において、職員が「笑顔で働ける環境」づくりも大切なテーマです。モチベーションが低下しないように、職場環境の整備も積極的に推進してまいります。また、町民の皆さまから信頼される指定管理者として、防災対策をはじめとする危機管理とコンプライアンスの強化を図ってまいります。

NO	項目	予定月	内容など
1	ミッション経営の実施	通年	毎日の朝礼にて「基本理念」、「経営理念」や「行動指針」を全員で読上げることにより、職員一人ひとりの肚に「使命感」を落とし込み、理念に基づいた経営を目指す
2	働き方改革	11月/3月	片づけチェック実施（効率的事務の推進）やOJTにて学ぶことで、業務を効率化を目指す
3	個別面接	6月/11月	人事評価システムを通じ、上司と部下のコミュニケーションを図り、士気高揚、活力を生み出し、風通しのよい職場づくりを目的に行う
4	リスクマネジメント勉強会 ～組織的な危機管理～	9月	施設管理や振興事業を遂行する上で、リスクが顕在化する前に回避または、被害が最小限に抑えられるように組織的に管理するための勉強会
5	安全研修	4月/6月/9月/2月	町民体育館・文化むら施設ごとに実施し有事に備える。【避難誘導、消火、参集、AED取扱訓練】
6	個人情報保護 情報セキュリティ研修	8月/1月	法令遵守を基本に個人情報取扱いの認識を高める

## ウ 財務

公益法人として求められる経理的基礎の充実に向けて、基礎能力の底上げに取り組んでまいります。指定管理業務やスポーツ振興・文化振興の事業計画、予算の進捗管理、また、事業評価、決算の経営分析による適切な経営支援を行い公益法人としての経営の安定化を図ってまいります。

NO	項目	予定月	内容など
1	経理基礎研修	4月	若手職員を対象に財務諸表、複式簿記、会計システム操作方法、収支計算書についてOJTにて実施
2	公益法人会計・簿記・経理セミナー	未定（適宜）	会計システム業者主催等のセミナー参加によって、若手職員は基礎的な簿記や経理を学ぶ。また、ベテラン職員は公益法人会計をより理解できるように深く学び法人運営に活かす。
3	次年度事業計画及び 予算作成	7月～10月	7月、8月振興事業、施設管理担当者とヒアリング 9月、10月中身を精査し最終調整
4	予算・振興事業の 進捗管理	毎月	月次試算表や事業評価シートによる進捗管理及び経営分析



## エ 理事会・評議員会

公益法人として社会からの信頼に応えるため、理事会、評議員会などの各機関の役割や責任を果たし、ガバナンスの確保や体制づくり、法人運営や事業の透明性・コンプライアンスに対して率先して取組み、新公益制度改革の目的とされている「自己責任」と「自主・自律性」に基づいた運営を行ってまいります。

NO	期 日	会議名	内容など
1	5月8日 (水)	監査会	平成30年度監査
2	5月15日 (水)	定時理事会	平成30年度事業報告及び会計決算
3	5月30日 (木)	定時評議員会	平成30年度事業報告及び会計決算 理事・監事・評議員の選任
4	5月30日 (木)	理事会	理事長・常務理事の選定、会長の選任
5	9月11日 (水)	理事会	未 定
6	9月19日 (木)	評議員会	未 定
7	12月11日 (水)	理事会	未 定
8	12月19日 (木)	評議員会	未 定
9	2月12日 (水)	理事会	次々年度事業計画及び会計予算
10	2月20日 (木)	評議員会	次々年度事業計画及び会計予算

## オ 指定管理選定スケジュール(予定)

NO	期 日	予定月	内容など
1	募集方法等の検討	6月～7月	選定方法、募集要項、審査方法など
2	募集要項の公表	8月	業務内容、指定期間、申請者説明会等の募集要項
3	応募書類の受付	9月	申請者説明会后、応募書類の受付開始、締切は9月末。その間、申請に関する質問受付
4	選定委員会による審査	10月	選定委員会設置、委員会会議、10月末選定審議会 (プレゼンテーション、面接審査)
5	指定管理者の指定	12月	11月中に選定結果の通知、町議会の議決後、 指定管理者の指定

## カ その他 (研修・資格取得等)

- ①階層別研修(新人・係長・課長)
- ②総務関係(公益会計基準、労務、公社債など)
- ③スポーツ関係(体育施設管理士、スポーツ指導、防災士資格など)
- ④文化関係(公文協主催アートマネジメント、技術研修、防災士資格など)